

# 薬友会 叡智 20

薬友会会報「叡智」第20号

発行：北陸大学薬友会

編集：北陸大学薬友会 横井康男

2021年10月●日発行

## ダイジェスト

### 令和3年度 活動報告

◆代議員総会 (web 会議) 令和3年5月6日 ナレッジキャピタルより配信

#### 報告

1. 会長就任 (選挙結果等) (HP 参照)
2. 新役員の紹介 (HP 参照)
3. 新代議員の紹介 ((HP 参照)
4. 新役員・新代議員の承認
5. 新役員・新代議員の自己紹介

参考：【<http://hu-dousoukai.net/yakuyukai/>】

#### 協議

1. 会誌の発行
2. 新3学部の卒業生の同窓会組織について
3. 卒後教育研修会活動について
4. 同窓会活動について
5. 北陸支部の代議員構成について
6. その他

#### オブザーバー出席

北陸大学 理事 泉洋成

北陸大学 教学支援センター長 山澤千尋

北法会 会長 斎藤光香

◆役員会 (web 会議)

令和3年7月4日 ナレッジキャピタルより配信

#### 事業部報告

1. 令和2年度決算
2. 各支部長より事業報告
3. 令和3年度予算
4. 全学部同窓会役員会の報告 (6/27 18:30よりオンライン会議の報告)
  - 1、6/21大学訪問の結果報告
  - 2、令和3年度 北陸大学同窓会会長就任の報告
  - 3、2020年度会費の納入について
  - 4、会則の変更について

◆役員会 (web 会議)

令和3年9月21日 (オンライン開催)

#### 協議

- ① 会誌の発行 (10月17日の大学祭に併せ叢智発行)
- ② 新3学部の卒業生の同窓会組織について
- ③ 卒後教育研修会活動について⇒コロナ収束後 東海・北陸支部で web 開催
4. 同窓会 in 福岡について (中止) ⇒12月にオンライン同窓会を企画
5. 北陸大学同窓会⇒会則 (案) 作成
6. 10月17日 (日) 大学祭について (オンライン開催)
- ⑦ 名簿管理について
- ⑧ 北陸支部のメンバー構成の相談
- ⑨ 次期開催⇒会則案作成後幹事会開催

## ■卒業生便り

- \* 「大規模コロナワクチン接種会場でのワクチン充填作業報告」
- \* 「今も私を育ててくれる北陸大学」
- \* (令和2年4月～令和3年3月) 決算報告・(令和3年4月～令和4年3月) 予算案報告

## ■最後に

薬友会にご寄付をいただいた卒業生の皆様へ

この度は北陸銀行へご寄付をいただいた13名の卒業生の皆様 (令和元年10月～令和2年1月)

この度は私どもの薬友会活動にご理解をいただき、ご寄附を頂戴しましたこと、心より感謝申し上げます。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

御礼が大変おそくなり申し訳ございません。

北陸大学 薬友会 会長 藤本高弘

## 大規模コロナワクチン接種会場でのワクチン充填作業報告

東海支部 支部長 奥村 智宏

本年度も新型コロナウイルスの感染拡大が続き、その影響で薬友会事業も思うように進まず、ご迷惑をお掛けしております。また、薬学部卒業生の多くは医療現場に従事されており、薬剤師会などを通じてコロナワクチンの接種事業に協力をされている方も多いかと思えます。

私のいる愛知県でも、多くの市町村でワクチン充填作業や予診確認などの業務を担っているほか、県内に設けられた新型コロナワクチン大規模集団接種会場での充填作業においても多くの薬剤師が活躍しています。今回、私自身も県営名古屋空港における接種会場にて充填作業に従事していますので簡単ではありますが報告をさせていただきます。

県営名古屋空港の接種会場では5月より新型コロナワクチンの接種を行っており、当初は高齢者などの優先接種対象者から始まり、現在では周辺市町村の住民一般接種も担っています。

空港ターミナルビル自体を利用した会場は、その2階エリアのすべてをワクチン接種のために利用しています。パーティションで区画を区切り、消毒、検温の後に受付を行い、医師の予診を経て医師や看護師、歯科医師によってワクチン接種が行われています。

私たち薬剤師は4時間交代のシフト制で会場の一番奥にある薬剤充填室において充填作業を行います。



ワクチンはモデルナ社のワクチンを使用し、充填にあたってはファイザー社のコミナティと異なり希釈作業はなく、あらかじめ注射針がセットされたシリンジ10本が入ったトレーにワクチンのバイアルとロットシールを受け取り、ロットを確認した上でバイアルよりワクチンを0.5mLずつシリンジに充填していきます。10本充填が完了するとトレーは鑑査に回され、エアが入っていないか、漏れが無いかなどを確認した上で接種ブースへと運ばれていきます。

モデルナワクチンの注意点は、コミナティに比べて少し白濁しており粘性があるため、針先が確認しづらいこともあり、特に10本目の充填を行う際には針先が少し見づらく迷うこともあります。

また、使用するシリンジも勤務の度が変わることがあり、通常の1mLの扱いやすいシリンジから、海外製の3mLのシリンジを用いることもあり、プランジャーを引くのが固く苦勞したり、目盛りの確認に苦勞することもありました。

近い将来、同窓生の皆様をはじめ医療従事者の協力によってワクチン接種が進み、感染拡大が収束に向かっていくことで、以前の様に研修会や懇親会で同窓生が顔を合わせられる日がやってくると信じて、今はしばらくコロナ禍の生活を耐え忍びたいと思います。

## 今も私を育ててくれる北陸大学

81年薬学部 薬学科 赤 壁 宏

元号は、昭和、平成と移り、令和になりました。私は、昭和56年に北陸大学に入学し、卒業後は、地元に戻り病院に就職。現在は、患者様に寄り添えるようにと診療所での調剤業務に移りました。

50歳も過ぎましたが、「現在の薬業界を知ることによって今後の業務に活かせるヒントを掴めれば」と2018年2月に開催された北陸大学薬友会関西支部の研修会に参加しました。翌年には北陸大学全学同窓会 in 金沢が開催されるということも知り、それにも参加しようとすぐに決めました。薬友会関西支部の研修会や全学同窓会で、公務員、製薬会社、開局薬剤師、病院薬剤師の職に就かれ方々にお会いできたこと。また、昨年薬剤師になった息子が、私とは違う「医薬品開発」の道に進んだことなどで、薬剤師の職種の多さ、専門分野の深さ、責任の重さを改めて感じました。

今回、先輩、後輩方と話したこと、耳を傾けたことで、さらに良い患者様に寄り添える診療所を作り上げようと確信しました。皆さまも機会があれば

ぜひ参加されることをお勧めいたします。

北陸大学薬学部の卒業生の方々は、前に述べたいろいろな職種に従事しながらも、リーダーシップを発揮し、地域に貢献している「縁の下の力持ち」になっています。「信頼」や「責任」という言葉で、苦勞をものともせず、医療の現場を盛りたてて行く卒業生ばかりです。これからは、私も一步一步前進したいと思います。

今回の広報も北陸大学全学同窓会 in 金沢で卒業以来の先輩にお会いし、連絡するようになり依頼されたものです。「荷が重い」とも思いましたが、こういう事もしなければならぬ年齢になったのだと改めて思いました。北陸大学薬学部が45周年、50周年を迎えるのも「あっという間」です。毎年数多くの卒業生を送り出し、北陸大学薬友会も大きな組織となって行くでしょう。今後も薬友会の研修会や薬学部同窓会にできるだけ参加するようにして自分の薬剤師としての能力、意識を高める努力を続けていきたいものです。

